

第3回ちばこどもホスピスフォーラム

病院でもない、家でもない いのちの「輝き」をともに紡ぐ 場所のつくりかた

無料

日時：2026年3月29日（日）13時～17時

対象：こどもホスピスに関心のある方（定員100名）

場所：千葉市生涯学習センター 大研修室
（千葉市中央区弁天3丁目7-7）

参加申し込み（先着順）右のQRコードよりお申込み下さい。



[オープニング] 13時～13時45分

主催者 挨拶・活動報告・未来構想2026
ご来賓 挨拶・紹介

講師&シンポジスト
の紹介は
裏面にあります

[基調講演] 13時45分～14時45分

いのちを育む空間づくり～こどもの感性を解き放つ建築とは～
津嶋功氏(岡田新一設計事務所 代表取締役社長)

[コンサート] 15時～15時30分

いのちと向き合うこどもと家族を応援するミニコンサート
チュロデュオ「たかぎとみたに」 ((公財) 千葉県文化振興財団)

[シンポジウム] 15時35分～16時50分

共創 -こどもたちの「やりたい」を叶える拠点を、共に-
シンポジスト：当事者家族、行政代表、副理事長

[クロージング] 17時

閉会の挨拶

主催：特定非営利活動法人ちばこどもホスピスプロジェクト

協力：千葉県文化振興財団

後援：千葉県、千葉市、(公社) 千葉県医師会、(公社) 千葉県看護協会、(公財) 千葉県ヘルス財団

認定NPOミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、千葉県重症心身障害児(者)を守る会、

(一社) 全国心臓病の子どもを守る会千葉県支部、(株) 千葉日報社、、ベイエフエム

問合せ 事務局：岩上宛 TEL043-497-5333

E-Mail: iwagami.syouko@kazenomura.jp

ちばこどもホスピスプロジェクト HP

<https://www.childrenshospice-chiba.org/>



基調講演講師&指定発言者

津嶋 功氏

岡田新一設計事務所 代表取締役社長

2013年～株式会社岡田新一設計事務所代表取締役

2021年～認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト理事

こどもホスピスに関わるきっかけは妻の脳腫瘍罹患でした。そのご縁で横浜こどもホスピスプロジェクト代表理事の田川さんと出会い、病院でもない自宅でもない第2のおうちをつくりたいという熱い想いに動かされました。

生命を脅かされる状態でありながら治療をしない環境とはどういうものだろう？と頭を悩ませつつ手探りしながら現在に至っています。

全国の同じ想いをもつ皆さまを応援しています。

シンポジスト

工藤 章寛氏

重症心身障害児の親

重症心身障害児である長男を含む家族5人で、本プロジェクト主催のイベントに参加してきました。

医療的ケアの有無に関わらず、家族みんなで同じ時間を過ごせる場所は、私たちにとって大きな支えであり、喜びでもあります。

障害のある子だけでなく、きょうだい、親自身も幸せをもらっている・・・そんな実感を、一家族の立場からお伝えできればと思います。

シンポジスト

横田 正明氏

千葉県保健福祉局次長

千葉県出身。厚生労働省に入省し、障害福祉、若年者・非正規雇用対策、戦没者遺骨の収集・鑑定、難病対策などの施策に携わり、平成24年の障害者自立支援法等改正（障害の範囲に難病等加える等）や、令和5年の難病法等改正（医療費助成開始を申請日から重症化時点に前倒し等）等を担当。

令和6年7月より現職

シンポジスト

横山 正博氏

ちばこどもホスピスプロジェクト

副理事長

2020年4月に千葉県庁を退職

その後、医療型障害児入所施設など医療・福祉施設を運営する法人の理事長を歴任。

誘われて訪問した「うみとそらのおうち」に強い感銘を受け、有志とともに2022年秋に、ちばこどもホスピスプロジェクトを立ち上げる。

「Dreams Come True」と言いながら、メンバーを「夢から現実へ」と引き戻す。

それも私の役割か？

シンポジスト

窪島 智子氏

ちばこどもホスピスプロジェクト

メンバー

2003年に4歳の息子をお空に見送りました。

闘病中から今日に至るまで、息子を通じてたくさんの方々に出会い、支えていただきました。この経験があったからこそできることがあるのではと思い、「ちばこどもホスピスプロジェクト」の活動に参加させて頂いています。